



モーツァルト室内管弦楽団 第123回定期演奏会

Mozart-Kammerorchester / 123. Regulärkonzert

懐かしのクラシックⅡ

— 日本の洋楽の原点を辿る —

2008年1月6日(日) 午後3時 ■ いずみホール

Sonntag, 6. Januar, 2008, 15:00Uhr. *Izumi Hall*, Osaka

- 主催：モーツァルト室内管弦楽団
- 協賛：いずみホール〔財団法人 住友生命社会福祉事業団〕
- マネジメント：大阪アーティスト協会 E-mail:artists@gol.com

〒530-0041 大阪市北区天神橋2-5-25-909 Tel 06-6135-0503



モーツァルト室内管弦楽団

第123回定期演奏会

懐かしのクラシックⅡ

【懐かしの名曲集Ⅰ】

スッペ	「詩人と農夫」序曲
ハイケンス	セレナーデ
ローザス	波濤を越えて(オーバー・ザ・ウェーブズ)
ケテルビー	ベルシャの市場にて
サラサーテ	チゴイネルワイゼン ¹⁾
ブラームス	ハンガリー舞曲 第3番 へ長調
	ハンガリー舞曲 第4番 嬰へ短調
ボロディン	中央アジアの草原にて
リムスキー=コルサコフ	歌劇「サドコ」から「インドの歌」 ³⁾
グリーグ	「ペール・ギュント」より「ソルヴェーグの歌」 ²⁾
ロッシーニ	「ウィリアム・テル」序曲

* * *

【浅草オペラ名曲集】

ビゼー	「カルメン」より「前奏曲」「闘牛士の歌」 ⁴⁾ <small>(オリジナル版：フランス語／浅草版：堀内敬三訳詩)</small>
オーベール	「フラ・ディアボロ」より「岩にもたれたものすごい人は」 ^{2,3)} <small>(オリジナル版：フランス語／浅草版：堀内敬三訳詩)</small>
スッペ	「ボッカチオ」より「ベアトリ姉ちゃん」 ^{3,4)} <small>(オリジナル版：ドイツ語／浅草版：小林愛雄訳詩)</small>
	「恋はやさし野辺の花よ」 ^{2,3)} <small>(オリジナル版：ドイツ語／浅草版：小林愛雄訳詩)</small>

【懐かしの名曲集Ⅱ】

チャイコフスキー	「白鳥の湖 第2幕」より「情景」「4羽の白鳥の踊り」 「オデット姫と王子のパ・ダクシオン」
ラフマニノフ	ヴォカリーズ ²⁾
ヴォルフ=フェラーリ	「聖母の宝石」より 間奏曲第1番
リスト	ハンガリー狂詩曲 第2番
レハール	「メリー・ウイドウ」より「ワルツ・デュエット」 ^{2,4)}

ヴァイオリン：鷺山 かおり¹⁾ ソプラノ：津山 和代²⁾テノール：清水 光彦³⁾ バリトン：藤村 匡人⁴⁾

ナビゲーター：桂 小米朝

管弦楽：モーツァルト室内管弦楽団

指揮：門 良一

スッペ：「詩人と農夫」序曲

フランツ・フォン・スッペ (1819-1895) はウインナー・オペレッタの開祖とっていいだろう。パリでオッフェンバックが始めたオペレッタがウィーンに輸入され、その影響下に「美しきガラテア」や「ボッカチオ」を作曲して大当たりを取った。生涯に200曲近いオペレッタを作曲している。「詩人と農夫」序曲は「軽騎兵」のそれとともにスッペのオペレッタ序曲で最も親しまれているもの。典型的な接続曲形式の序曲で、劇中の音楽が次々に現れる。美しいメロディに溢れていてダイナミックで心地よい名序曲である。

ハイケンス：セレナーデ

ジョニー・ハイケンス (1884-1945) はオランダの作曲家。この1曲のみで知られる。わが国の戦時中のラジオ番組のテーマ音楽に使われたので有名になった。オランダとは当時南方で対戦していたから、「敵性音楽」がなぜ使われたのかと不審に思っていたが、ハイケンスは対独協力者だったらしい(戦後、逮捕されて獄死している)。この曲は戦後は国鉄の車内放送にも使われ親しまれた。筆者には小学校の校庭で放課後鳴っていたような記憶がある。

ローザス：波濤を越えて(オーバー・ザ・ウェーブズ)

フベンティーノ・ローザス (1868-1894) はメキシコのインディオ出身の音楽家。わずか26歳でこの世を去っている。やはりこの1曲だけが有名である。懐かしの名曲にはワルドトイフェル「スケートをする人々」、「女学生」、レハール「金と銀」などワルツが多いが、この曲はイヴァン・ヴィッチの「ドナウ河の漣」とならぶ、非ウインナー・ワルツ系の通俗名曲である。

ケテルビー：ベルシャの市場にて

アルバート・ウィリアム・ケテルビー (1875-1959) はイギリス、バーミンガム出身で、劇場オーケストラの指揮者、放送局の作曲・編曲者、楽譜出版社の部長、レコード会社のディレクターなどとして活躍するかたわら、作曲した小品が世界的にヒットした。エキゾティックな雰囲気、通俗的描写音楽が多い。最も有名な「ベルシャの市場にて」は以下のようなストーリーが作曲者によって書き込まれている。「ラクダに乗った隊商が近づいてくる」「お恵みを」と叫ぶ市場の乞食たち」「美しい姫君の到着」「奇術師と蛇使い」「太守の行列の通過」「再び乞食の叫び声が聴かれ、姫君が帰り仕度を始め、隊商たちが再び旅に出て、市場は静まっていく」。変化に富んでいて、非常にわかりやすい、通俗名曲の代表的傑作といえよう。

サラサーテ：チゴイネルワイゼン(ジプシーの歌)

いわずと知れたヴァイオリン独奏の名曲中の名曲。パブロ・デ・サラサーテ (1844-1908) はスペインの世界的ヴァイオリニスト。バガニーニの再来といわれ、サン＝サーンス、ラロ、ブルッフといった作曲家が競って協奏曲を献呈した。世界中を演奏旅行して回り、自らの技巧を顕示するための小曲を多く作曲している。この作品は、遅いテンポのラッサンと急速なプリスカとから成るジプシー音楽の型を踏まえた名曲である。

ブラームス：ハンガリー舞曲 第3番 へ長調

ヨハネス・ブラームス (1833-1897) は、ハンガリー出身のヴァイオリニスト、レーメニイを通じてハンガリアン・ジプシーの民族音楽を知るようになり、それらを蒐集して四手のピアノ用に編曲、出版したところ人気を博した。全部で21曲を数える。ブラームス本人のほか、いろいろな人によって管弦楽用に編曲されており、編曲者の中に

はドヴォルザークもいる(彼はこれを範として「スラブ舞曲集」を作曲するのである)。この第3番は、第1番、第10番とともにブラームス自身によって編曲された3曲のうちの1曲である。他の曲に比べてからっとした明るさが特徴のスマートな舞曲である。

ブラームス：ハンガリー舞曲 第4番 嬰へ短調

第3番とは対照的な、いかにもジプシーらしい暗い情熱に満ちた曲。ハンガリー舞曲といえば第5番、次いで第6番が圧倒的に有名であるが、この第4番は映画音楽的なところもあって華やかであり、もっと愛好されていい曲と思える。本日の演奏はパウル・ユオンによるオーケストラ編曲版によっている。

ボロディン：中央アジアの草原にて

アレクサンドル・ボロディン(リエヴィチ・ボロディン (1833-1887) はロシア国民楽派のいわゆる「5人組」の一人である(他の4人はバラキレフ、キュイ、ムソルグスキー、リムスキー=コルサコフ)。「5人組」の作曲家たちは音楽を本職としない人が多く、ボロディンもベテルブルク医科大学教授で化学者であった。したがって作品数は多くないが、ロシア民族色の強い傑作を残しており、フランス近代音楽にも影響を与えるなど、その存在は大きいものがある。「中央アジアの草原にて」は中央アジアの隊商の往来を描いた交響詩で、交響詩という形式の創始者、リストに捧げられている。

リムスキー=コルサコフ：歌劇「サドコ」から「インドの歌」

やはり「ロシア5人組」の一人、ニコライ・アンドレイエヴィチ・リムスキー=コルサコフ (1844-1908) も始めは音楽家ではなく海軍の軍人であった。オーケストレーションの名人で近代管弦楽法の祖といわれる。仲間のムソルグスキーやボロディンのオペラのオーケストレーションを補ったことでも知られる。歌劇「サドコ」はロシアの都市ノヴゴロドに伝わる伝説を題材にしたもので、ゲースリ(ロシア琴)弾きサドコが海の帝王の娘と結婚するという、ドヴォルザークの「ルサルカ」とグリークの「ペール・ギュント」を混ぜたような筋書きのオペラである。「インドの歌」は劇中、インドの商人が歌うお国自慢の歌である。なお、この歌は原曲のロシア語でなくフランス語で歌われることが多い。

グリーク：「ペール・ギュント」より「ソルヴェーグの歌」

ノルウェーの音楽家であるエドヴァルド・ハゲルブ・グリーク (1843-1907) の劇音楽「ペール・ギュント」は、劇の原作者でノルウェーの文豪イブセンのじきじきの依頼によって書かれた。曲は全5幕分で1時間を越す大曲である。そのうちからいくつかが抜粋されて組曲第1番、第2番となってよく知られている。ペール・ギュントとはノルウェーの民話に登場する伝説的な放浪の英雄である。「ソルヴェーグの歌」はペールの妻ソルヴェーグが旅に出た夫を偲ぶ歌で、劇中に何度も使われる美しい旋律のものである。なお、本日の演奏ではドイツ語と日本語で歌われる。

ロッシェニ：「ウィリアム・テル」序曲

ジョアッキーノ・ロッシェニ (1792-1868) 最後のオペラの序曲である。ロッシェニは37歳でこのオペラを書いて以後ほとんど作曲をせず、美食に明け暮れたという。シラーの手になるウィリアム・テルの物語はよく知られているし、この序曲も大変ポピュラーだが、オペラそのものは今日あまり上演されないようである。この序曲も誰でも知っている超有名曲であるわりには演奏会で取り上げられることは少ないように思う。曲は「夜明け」「嵐」「静寂」

「軍隊の行進」という非常に対照的な4つの部分から成る、これも典型的な接続曲形式の序曲である。

「浅草オペラ」について

大正時代に一世を風靡した「浅草オペラ」とは、西洋のオペラやオペレッタを日本風に翻案した大衆演芸活動を用いものである。「浅草オペラ」という呼称じたいはその当時はなかったものであって、後の時代のより本格的なオペラ活動と区別するための、後から作られたことばである。そして、さらに強調されなければならないのは、この活動が東京の浅草を中心とした局所的なものではなく、日本全国でほとんど同時発生的に起こったものであることである。当時の日本は現在ほど東京一極集中ではなかったものであって、関西においても東京とほぼ同規模の「浅草オペラ」があったということである。

「浅草オペラ」は日本洋楽史における奇蹟といえるもので、ウィーンやパリで流行していたオペレッタが主であったが、「カルメン」、「椿姫」、「アイダ」のような本格オペラも上演された。しかし、いずれも大きくカットされ、連う曲どうしをひっつけるというような大胆な改作が行われるのが普通であった。当時の人気のほどは、「ペラゴロ」という言葉を生み出すほどであった（オペラのゴロツキの意）。

本日は当時の代表的ヒット曲4曲を原語オリジナル版と、当時の訳詩による「浅草」版の比較演奏という、おそらく今まで行われたことのない試みでお聴かせする。

ビゼー：「カルメン」より前奏曲

「カルメン」は今日に至るまで世界中で最も人気のあるオペラだが、作曲者のジョルジュ・ビゼー（1838-1875）はこのオペラの成功を見ることなく、わずか37歳でこの世を去っている。前奏曲は実にエネルギーで派手派手しい音楽である。本日の演奏では、中間の「闘牛士の歌」のメロディのところはカットして演奏する。

ビゼー：「カルメン」より「闘牛士の歌」

カルメンが誘惑したドン・ホセの恋敵、闘牛士エスカミリオのアリア。カルメンの歌う「ハバナ」とともにこのオペラの最も有名なアリアである。本日は1番を原語フランス語で、2番を堀内敬三訳の日本語で歌う。

オーベール：「フラ・ディアボロ」より「岩にもたれたものすごい人は」

ダニエル・フランツワ・エスプリ・オーベール（1782-1871）はフランス・グランドオペラのスタイルを確立した作曲家。「フラ・ディアボロ」とは伝説的大盗賊の名である。浅草オペラ時代から「岩にもたれたものすごい人は」の歌いだしで知られるこの歌は、原曲では盗賊が泊まる旅籠屋の娘ツェルリーナが、サン・マルコ侯爵を名乗る盗賊にそれと知らず盗賊の噂を歌い、それに侯爵が応える二重唱。浅草オペラの大スター、田谷力三の得意の歌であった。原語（フランス語）で1-3番を、日本語（堀内敬三訳）で1、2番を歌う。

スッペ：「ボッカチオ」より「ベアトリ姉ちゃん」「恋はやさし、野辺の花よ」

スッペのオペレッタの最高傑作。「デカメロン」の作者ボッカチオを主人公にした面白おかしいもの。「ベアトリ姉ちゃん」は原曲は「セレナーデ」で、亭主の留守中に若い男を引っ張り込んで浮気の真っ最中の床屋の女房ベアトリに、心配して帰ってきた亭主とその仲間が外から呼びかける歌。原曲は男声3重唱だが、2重唱版で演奏する。「恋はやさし、野辺の花よ」は浅草オペラ最大のヒット曲で、やはり田谷力三が得意とした。原曲はボッカチオの恋人フィアメッタとボッカチオの二重唱。2曲とも原語（ドイツ語）と日本語（小林愛雄訳）で繰り返す。

チャイコフスキー：「白鳥の湖」第2幕より「情景」「4羽の白鳥の踊り」「オデット姫と王子のパ・ダクシオン」

バレエ音楽の最高傑作であるばかりでなく、ピョートル・イリイチ・チャイコフスキー（1840-1893）の作品中でも最も人気のある「白鳥の湖」が、初演当初は全くの不人気であったという事実は信じがたい。しかし、この音楽の登場によってバレエ自体が改革され近代化されたということである。バレエ音楽全曲は4幕から成る膨大なものだが、作曲家自身によって6曲が選ばれて演奏会組曲が作られ、親しまれている。第2幕の「情景」はオーボエによって奏される甘く哀しい白鳥の主題があまりにも有名である。「4羽の白鳥の踊り」は哀調を帯びながらも軽快な小品。「オデット姫と王子のパ・ダクシオン」はハーブのカデンツァに始まり、ヴァイオリンとチェロのソロとで織りなす華麗な音楽である。

ラフマニノフ：ヴォカリーズ

セルゲイ・ヴァジリエヴィチ・ラフマニノフ（1873-1943）が1912年に作曲した、14曲から成る歌曲集作品34の最後の歌。ヴォカリーズとは歌詞を伴わない歌唱練習用の母音唱法を意味する。ラフマニノフならではの哀調切々たるノスタルジックな歌である。映画「カーネギーホール」で名歌手リリー・ポンスが歌うシーンが印象的であった。

ヴォルフ＝フェラーリ：「聖母の宝石」より間奏曲 第1番

エルマンノ・ヴォルフ＝フェラーリ（1876-1948）はその名が示すように父親がドイツ人、母親がイタリア人で、オペラ作家として主としてイタリアで活躍した。「聖母の宝石」はオペラそのものよりもこの間奏曲で有名。感傷的な美しいメロディが力強く歌われる。

リスト：ハンガリー狂詩曲 第2番

ハンガリー出身のフランツ・リスト（1811-1886）は幼少からハンガリアン・ジプシーの音楽に親しんだ。ハンガリー狂詩曲はピアノ独奏用として作曲され、全曲は14曲とも19曲ともいわれている。そのうちの6曲がリスト自身と弟子のドップラーとの共同でオーケストラ用に編曲されている。サラサーテの「チゴイネルワイゼン」やブラームスのハンガリー舞曲と同じく、ラッサンとフリスカから成るジプシー音楽のチャルダシュの形式が採られている。第2番は最も有名でポピュラー名曲となった。映画「オーケストラの少女」ではストコフスキーの指揮するこの曲が中心となっている。第2番だけはリスト・ドップラーの編曲はあまり演奏されず、本日用いるミュラー＝ベルクハウス編曲版が一般的である。

レハール：「メリー・ウィドウ」より「ワルツ・デュエット」

フランツ・レハール（1870-1948）はウィンナ・オペレッタ中興の祖といわれる。スッペやヨハン・シュトラウスの作ったウィンナ・オペレッタ黄金時代の栄光を再現して白銀時代と呼ばれる一時代を画した。「メリー・ウィドウ」はヨハン・シュトラウスの「こうもり」とならぶオペレッタの最高傑作であろう。パリを舞台に、美貌の未亡人ハンナ・グラヴァリとその昔の恋人ダニロ・ダニロヴィッチ伯爵を中心に繰り広げる華やかなドラマは、ハンガリー生まれのレハールの音楽によって美しくまた親しみやすく彩られている。この「ワルツ・デュエット」は終幕近く二人が愛を確かめ合う魅惑の二重唱であり、「ヴィリアの歌」とともにこのオペレッタの2大名曲である。

（この稿を書くにあたり「最新名曲解説全集」、永竹由幸著「オペラ名曲百科」、同「オペレッタ名曲百科」（以上音楽之友社）、井上和男編著「クラシック音楽作品名辞典」（三省堂）を参考にしました。また、「浅草オペラ」については大阪音楽大学の塩澤洋子准教授にご教示いただいたことを感謝します。）



門 良一 ●指揮

Ryoichi Kado, Conductor

1939年大阪生まれ。フルートを曾根亮一氏に、指揮法を青山政雄氏に師事。62年京都大学理学部卒業、67年同大学院修了。70年同志とともにモーツァルト室内管弦楽団を創立、常任指揮者となり現在に至る。87年、モーツァルトのピアノ協奏曲全27曲、交響曲全74曲の連続演奏完結に対し、モーツァルト室内管弦楽団とともに第5回藤堂音楽賞を受賞。

現在、NHK大阪文化センター、同神戸文化センター「モーツァルトを聴く」講師。京都産業大学教授。



桂 小米朝 ●ナビゲーター

Kobeicho Katsura, Navigator

1958(昭和33)年12月20日生まれ。78(昭和53)年8月、父である桂米朝に入門。同年10月、京都・東山安井の金比羅会館での桂米朝落語研究会で初舞台を踏んで以来、数々の落語会に出演。「王道を見失わずに歩む」ことを信条に、現在も全国各地で「桂小米朝独演会」を開催している。クラシック音楽にも造詣が深く、各地でオーケストラと共演し、上方落語とオペラを合体させた「らくごペラ」という新分野も確立しました。また、役者としても活躍しており、映画「細雪」や舞台「浪花・花もめん(名鉄ホール)」をはじめ数々の作品に出演している。EMIミュージック・ジャパンより、CD「桂小米朝 落語の世界」(第1集～第5集)をリリース。平成4年大阪府民劇場奨励賞、平成17年兵庫県芸術奨励賞受賞。平成20年10月4日、五代目桂米團治を襲名予定。



モーツァルト室内管弦楽団 Mozart-Kammerorchester

1970年に指揮者 門 良一によって設立され、37年間一貫して30数名のメンバー構成を維持するわが国では数少ない本格的室内オーケストラである。レパートリーはモーツァルト、ハイドンを中心とした古典派からバロック、前期ロマン派に及び、最近ではフランス近代の作品にも手を伸ばしている。モーツァルトに関しては交響曲と協奏曲の全曲を演奏した日本唯一のオーケストラであり、創立当初から新モーツァルト全集に準拠した楽譜を使用していることは注目に値する。'91年のモーツァルト没後200年に際しては2年にわたり記念シリーズを催し、なかでもモーツァルトの予約演奏会プログラムを完全に再現した日本初の企画は大いに話題を呼んだ。演奏スタイルは中規模編成の特色をフルに生かしたもので、的確なテンポ、明快なリズム、清澄なサウンドは定評のあるところである。関西一円で演奏活動を展開するなかで'90年からは大阪いずみホールを本拠として定期演奏会を、また隔年毎に東京定期演奏会を行い既に16回を数えている。海外では'88年にはドイツ民主共和国文化省の招聘による旧東独国内への演奏旅行を成功させている。内外の著名アーティストと数多く協演しており、なかでもマリア・ジョアオ・ピリス('85、'87年)、シブリアン・カツァリス('93、'94年)、ペーター・ダム('83、'86、'88、'98、'00年)、ウィーンフィル木管アンサンブル('86年)、ライナー・キューヒル('90年)らとの名協演はいまも語り草となっている。'91年に姉妹団体、モーツァルト記念合唱団を誕生させ宗教曲などで活発に協演するほか、'93年には堺シティオペラとの協力による「モーツァルト・オペラシリーズ」を開始し、いずれも好評をもって迎えられている。'06年1月にはモーツァルト生誕250年記念特別企画としてオペラ《イドメネオ》の世界初オリジナルノーカット版演奏会形式上演を挙行し絶賛を浴びた。「素晴らしい成果」(毎日新聞)、「この楽団は注目」(朝日新聞)。

モーツァルト室内管弦楽団／出演メンバー

コンサートミストレス ●鷺山かおり

第1ヴァイオリン	鷺山かおり	申田えがく	西出昌弘	蒲生 絢子
	青野久美子	池添三輪子	大江 浩志	大西由起
	中川 衛子	道 幸明美	久保田裕美	福田 裕司
	大西 秀朋	佐份利祐子	伊賀上文子	鈴木 智
	青 砥 華	上野 亮子	中江 暁子	森 岡 佐和
	奥野 敬子	高野ちか子	和 田 尚裕	三 田 博基
	森住 憲一	山本 彩子	門 小夜子	安 保 昌洋
	村井 絃子	岡尾 有紀	佐 伯 利之	小 谷 康夫
第2ヴァイオリン	本多智子	柳 瀬 史佳	西村 晴美	福 井 鈴
	原田潤一	仙波 房子	佐藤 明美	丸 若 安紀
	川島多美子	石川 浩之	垣本奈緒子	野 田 千晶
	北村 奈美	中村 公美	永 武 靖子	



鷺山かおり ● ヴァイオリン

Kaori Washiyama, Violin

京都市立芸術大学及びサンタチェチリア音楽院を首席で卒業。数々の国内外コンクール(ヴァイオリン、室内楽)を制覇。1987年より関西地区を地盤に「鷺山かおり室内楽シリーズ」を開催、その活動は21年に及ぶ。この成果に対し、京都音楽賞、藤堂音楽賞、京都府文化賞、バロックザール賞などを受賞。また、京都コンサートホール、京都府民ホール・アルティなどの開館事業にも招聘され、著名演奏家との共演も多い。日本、アメリカ各地での数多くのソロリサイタルで演奏するほか、モーツァルト室内管弦楽団のコンサートミストレス及びソロイストとしても活躍し、コンサートヴァイオリニストとして経験豊富である。'88年より20年間、京都市立芸術大学講師を務める。ニューヨークを拠点とし、日本各地での集中講座も人気を得ている。現在、ペンシントン大学弦楽科で教鞭を執っている。



津山和代 ● ソプラノ

Kazuyo Tsuyama, Soprano

大阪音楽大学卒業、同大学専攻科修了。東京音楽大学研究科オペラコース修了。二期会オペラスタジオ修了。畑中良輔、福澤アクリヴィ、大森地塩の各氏に師事。二期会オペラスタジオ修了公演では「こうもり」のアデーレを演唱。関西二期会では「アルバート・ヘリング」でデビュー。その後オペラを中心に多彩な役柄を好演する一方で宗教曲のソロ、NHK-FM録音など幅広く活動している。チリ国際音楽コンクール第2位、二期会オペラスタジオ優秀賞。東京文化会館推薦オーディション合格。現在、同志社女子大学、堺女子短期大学各講師。関西二期会、京都フランス歌曲協会、堺シティ・オペラ各会員。



清水光彦 ● テノール

Mitsuhiro Shimizu, Tenor

大阪音楽大学卒業、同大学大学院修了。ウィーン国立音楽大学ディプロマ修得後、帰国。関西二期会を中心に、「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「カルメン」「ラ・ボエーム」「蝶々夫人」「夕鶴」他、数多くのオペラに出演。ヘンデル、ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、ヴェルディ等の宗教曲のテノール・ソロや、コンサートも多数。いずれも高い評価を得ている。また、2003年3月には、シューベルトの「冬の旅」をもって、リサイタルを開催。田原祥一郎、広岡隆正、五十嵐喜芳、常森剛志、マリオ・デル・モナコの各氏に師事。現在、大阪音楽大学非常勤講師。関西二期会、日本演奏連盟、神戸音楽家協会、神戸波の会各会員。兵庫県音楽活動推進会議メンバー。



藤村匡人 ● バリトン

Masato Fujimura, Baritone

横田浩和教授の指導のもと、大阪音楽大学卒業および同大学大学院修了。平成元年度文化庁国内芸術家研修生。93年「兵庫県新進芸術家海外研修員」として渡欧。カールスルーエ音楽大学演奏家養成コース・リート科にて、「歌曲演奏法」を中心に研修を進める(98年修了)。オペラでは「ドン・ジョヴァンニ」のタイトルロール、「フィガロの結婚」の伯爵役、「タンホイザー」のヴォルフラム役等、数々の難役を好演。89年なにわ芸術祭新人賞、91年第3回J.S.G.国際歌曲コンクール第3位、平成15年度坂井時忠音楽賞をはじめ受賞多数。武庫川女子大学音楽学部講師。神戸市混声合唱団団員。関西二期会、日本シューベルト協会、加古川音楽家協会各会員。



TakaMatsu

高松建設株式会社

〒532-0025 大阪市淀川区新北野1-2-3

TEL:06-6307-8101(代)

URL: <http://www.takamatsu-const.co.jp/>

本社・大阪本店、東京本店、東関東支店、埼玉支店、横浜支店、名古屋支店、京都営業支店、神戸営業支店

GWA(グリーンウッドアライアンス)

高松建設、やまと建設(大阪)、日本建商(大阪)、やまと建設(東京)、日本オーナーズクレジット、日本建商(東京)、住之江工芸、JPホーム、金剛組、中村社寺、青木あすなろ建設、あすなろ道路、青木マリーン、大和ロック、東興建設、GWA総合サービス (全16社)



懐かしのクラシックⅡ協賛者

《懐かしのクラシックⅡ》の上演に際し各方面に協賛の願いをいたしましたところ、多くの方々からご賛同を得ました。ここにご芳名を記載させていただき謹んで謝意を表します。ありがとうございました。

高松建設(株)	松枝 正明	桑山 弘	栗山 司	野々村 秦明
大日本除虫菊(株)	松枝多加子	飛田 薫	広岡ひろみ	根来 雅子
阿部由美子	松本 幸道	桐山 輝彦	武本佳代子	田中 容子
安藤 邦洋	三浦信一郎	塩脇 昭司	山上 和則	高野 匡史
石上 豊子	三谷 郁子	塩脇 祥子	岡部 隆	松井 基純
石光 正男	光成 博次	一木 晃	都筑 章	大西理都子
石本三千也	宮井 茂治	谷口 勝昭	東中 稔代	吉田 皓
植田 饒	宮井 芳子	野口 祐三	貫井 慶子	北川 鈴子
碓井 昭彦	宮川 泰濟	森本 武	多賀谷 学	吉川 素三
梅原 一哲	森内 達治	栗原 裕	石原 潤一	田中 徹
荻野伊都子	屋良巳佐治	栗原 順子	奥村 一二	三箇山優子
金盛 琢志	和田 暁夫	小山 浩	三島 秀夫	山村 哲夫
金定 秀光	渡辺 優子	吉川 雅庸	宮原 孝雄	関 満智子
金定嘉也子	三石 武男	高松 孝育	村上 治水	関 歌津子
川島 啓助	岡野 昌樹	小川 達二	伊藤 敏枝	中石 敦子
川島 弘章	岡野恵津子	山路 龍天	河井 洋子	坪田 廣子
河野奈津子	内藤 壽一	東海林恭子	邑上治兵衛	小川 雄介
河野 幹雄	内藤 芳美	阪上 弘仁	宮永 文夫	文殊佐知子
阪野 和子	佐藤 功	小野 宏	伊藤 卓児	畑野 峻
古賀富美子	野村 透	小寺 範生	足立 兼子	大西 広一
笹川 忠士	野崎 志朗	片桐登紀子	山本 道子	佐々木義之
祐野 尚子	橋本 靖昭	加藤 勝己	井村 洋子	福岡 美彦
中井 武司	有賀 熙雄	津田 静代	渡辺 義明	福井 敬一
中井佐和子	佐野 哲郎	松田 正子	下園 健一	山本 剛郎
中川 泰幸	小柳 陽一	奥田 肇	佐野 哲昭	吉村 盛善
中嶋 允子	島村 猛	古川 豊男	藤田 忠正	鷺山 樹心
中條 澄	河原 恭子	漆戸 啓二	清風情報工科学院	
橋本太三雄	松井とも子	漆戸万里子	内田ルリコ	
深田 晴世	得田 栄蔵	井狩 彌介	能田 くみ	
福岡 昭吉	菱谷勝次郎	西川 保子	別所 義雄	
福岡 隆子	中谷 庄八	木村 良子	矢橋 佳子	

12月28日現在
(順不同、敬称略)

 KINCHO

インテリア系美的芳香・消臭剤

Air Freshener

COLOR FLOW
ART

カラーフローアート

ぶどうの香りシリーズ

巨峰の香り
マスカットの香り
ワインの香り



疲労感を和らげ、リラックス効果のある「みどりの香り成分」(青葉アルコール)配合

会 長 岡 本 道 雄 (京 都 大 学 名 誉 教 授)
理 事 大 西 正 文 (大 阪 ガ ス 株 式 会 社 相 談 役) 谷 口 安 平 (京 都 大 学 名 誉 教 授)
森 井 清 二 (関 西 電 力 株 式 会 社 顧 問) 吉 野 泰 生 (住 友 生 命 保 険 相 互 会 社 会 長)
(50音順)
顧 問 齋 藤 房 江 (大 阪 府 知 事) 平 松 邦 夫 (大 阪 市 長)
伊 藤 郁 太 郎 (大 阪 市 立 東 洋 陶 磁 美 術 館 館 長) 梅 原 猛 (国 際 日 本 文 化 研 究 セ ン タ ー 顧 問)

法人会員 (50音順)

荒川化学工業	住友金属工業	日本通運京都旅行支店	三井住友カード
井上冷熱	住友精密工業	濱田プレス工藝	ワコー
大阪ガス	住友生命保険	林六	*
関西電力	住友倉庫	福山製紙業	日本セルフ
クオーク	ダイキン工業	松下電器産業	
阪野商店	大同ケミカルエンジニアリング	丸山サービス	
サントリ	高松建設		

個人会員 (入会順、敬称略)

松井繁一	阿部由美子	馬場明和	三石武男	河原恭子	子一子	河津清子
深田晴世	中川泰幸	阪野俊一	内藤信一郎	原田和子	子一子	清時宗守
河野幹雄	石上豊子	奥野慶子	小西廣子	平井とも	子一子	沢竹宗陽
河野奈津子	村本孝夫	森川明子	佐野俊策	松田栄	子一子	木崎悦朗
福岡隆子	松本幸道	宮川泰夫	内田恒道	南形昭	子一子	宮原順子
梅原一哲	市崎英二	和田暁夫	神岡昌樹	平山上	子一子	栗谷口勝
石本三千也	笹川忠士	桑石光正	岡野惠津	村菱谷	子一子	完野口祐
田村真也	緒林桂子	伏崎久子	杉浦和子	足立武次	子一子	野口外志
竹村治彦	碓井昭彦	松枝多加	脇田貞男	東竹林	子一子	森倉小野
岸田克己	碓井みち子	松枝多加	多野雅祥	田中忠	子一子	林山原
梅村博也	長井重米	光成博	佐野安隆	中谷野	子一子	大野西
屋良正和	桂田多	植田史方	今玉鈴	豊岡平	子一子	堀中
國友文一	能田達治	植田史方	川島啓	岡野平	子一子	
梅田千代子	森内井尚	高川島	坂本武	大飛田	子一子	
稲垣俊太郎	宮井尚	川島啓	中井佐和	桐森野	子一子	
浮田伊都子	祐野秀光	川島啓	西森文彦	宮野井	子一子	
荻野弘子	金定嘉也	坂本武	岸田孝之	塩脇	子一子	
三谷郁子	金定澄	中井佐和	豊田成子	塩脇	子一子	
田中喬英	中嶋允吉	西森文彦	切畑敦	塩脇	子一子	
天野康一郎	福岡昭吉	岸田孝之	中東富	塩脇	子一子	
三浦信一郎	福山本次	豊田成子	金盛	塩脇	子一子	
水島敬夫	山本正徳	切畑敦	四宮	塩脇	子一子	
渡辺優子	菅正徳	中東富	四宮	塩脇	子一子	
平川美津子	日高啓助	金盛	四宮	塩脇	子一子	
安藤邦洋	藤原啓初	四宮		塩脇	子一子	
橋本太三雄	山本初			塩脇	子一子	

会 費・個人会員につきましては年会費1口2万円です。

・法人会員につきましては年会費1口10万円です。

会員の特典・年間6回の自主公演にご招待致します。(1口につき個人各1枚、法人各5枚)

・ご同伴者は10%割引となります。

・関連演奏会のご案内又はご優待を致します。

・定期演奏会プログラムにご芳名を記載させていただきます。

・会報「ディヴェルティメント」をお送り致します。

(有効期間は入会時より1年間です。)
随時ご入会いただけます。